

第2部 部門別協議会 (社会奉仕部門)

最初に、リーダー新谷秀一 PDG から、社会奉仕はロータリーの奉仕の原点であり最重要の部門であるとの挨拶があった。

中山正隆次年度地区社会奉仕委員長から、次年度活動計画として、奉仕の出発点は社会奉仕にあり、各クラブの社会奉仕が素晴らしいプレゼントになるために、地区社会奉仕委員会はサポートをして行くこと、例年社会奉仕委員会が推奨している重点項目[環境保全・大阪湾再生活動・献血活動・薬物乱用防止活動・東日本大震災への支援(地区災害支援委員会との連携)・国内の大規模災害発生時の支援(地区災害支援委員会との連携)・交通安全]のうち、今年度は「水環境」について重点を置き、国土交通省近畿地方整備局と連携し、淀川、大和川の清掃活動等に取り組んでいただきたいこと、その他・献血活動の協力(赤十字血液センター)・薬物乱用防止活動の協力(大阪府健康福祉部)等各種団体が実施する活動、ローターアクトの皆様とも協同して行われる活動に参加をお願いし、これら諸団体の方のお話を卓話に取り入れていただきたいこと、の発表があった。

山本博史次年度地区財団資金管理小委員長から、地区補助金を使用しての社会奉仕活動が、規模の大きな活動を実現できるとの説明の後、地区補助金の仕組みと申請の流れの説明があり、地区補助金を使用した奉仕活動の事例を参加クラブの社会奉仕委員長からの報告も交え進行した。

バズセッションでは、IM 組ごとに、各クラブの奉仕活動の報告、意見交換がなされ、終了後、各テーブルリーダーから、今後の奉仕活動の策定に役立てていただける報告がなされた。例えば、母子家庭の子供を USJ へ招待・障害者をコンサートへ招待・環境問題への取組み・特別支援学校や特別養護老人ホームへの支援・バス停の屋根を付ける事業・盲導犬の寄付・夏祭りの開催・橋の清掃・高齢者を落語のイベントへ招待・たこ焼き器の寄贈などの取組みなどである。

(次年度地区社会奉仕委員長 中山正隆)